



新しい公共空間を みんなで考える

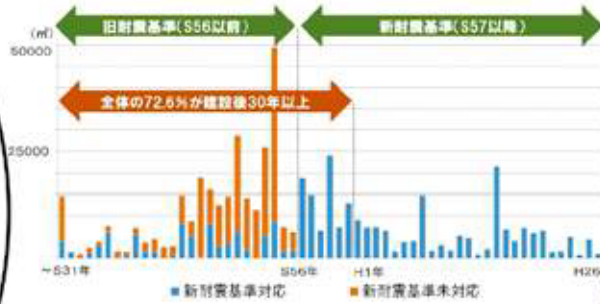
別府市公共施設再編計画について



別府市



まず、施設老朽化の問題があります。

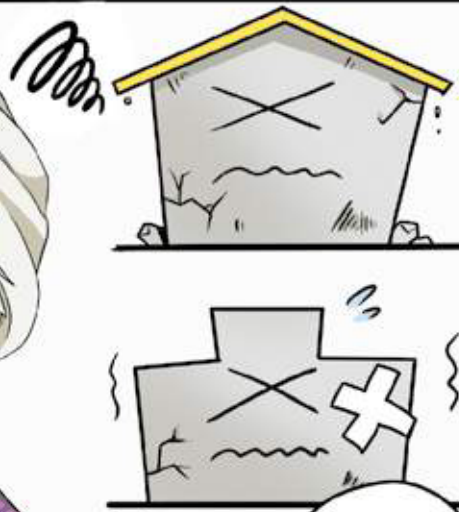


築30年以上の建物が7割、40年以上が4割と老朽化が進んでいることです。

建物が古いんだね!



それだけじゃないわ。旧耐震基準のままの建物や標準に使用できる期間を超えた建物もあるの。



あっ!!



建物を改修するか新しく建て直せばいいんじゃない?

それじゃあお金がいつばいかるんじゃない?



熊本地震で別府も大変だったから心配ね



市の計算では、今後50年で
2200億円、年平均では
44億円のお金が必要です。

※現在使用している施設を全て建替えた場合
(平成26年試算)

今後必要な費用
2200億円
÷
50年
=44億円

現在
20億円

2倍以上!



でも現実には、
公共施設に使っている
お金は毎年20億円
ほどなんです。

えー！
2倍以上のお金が
必要ってこと!?



将来負担できるか心配だわ...

もっと税収を
増やせないかしら...





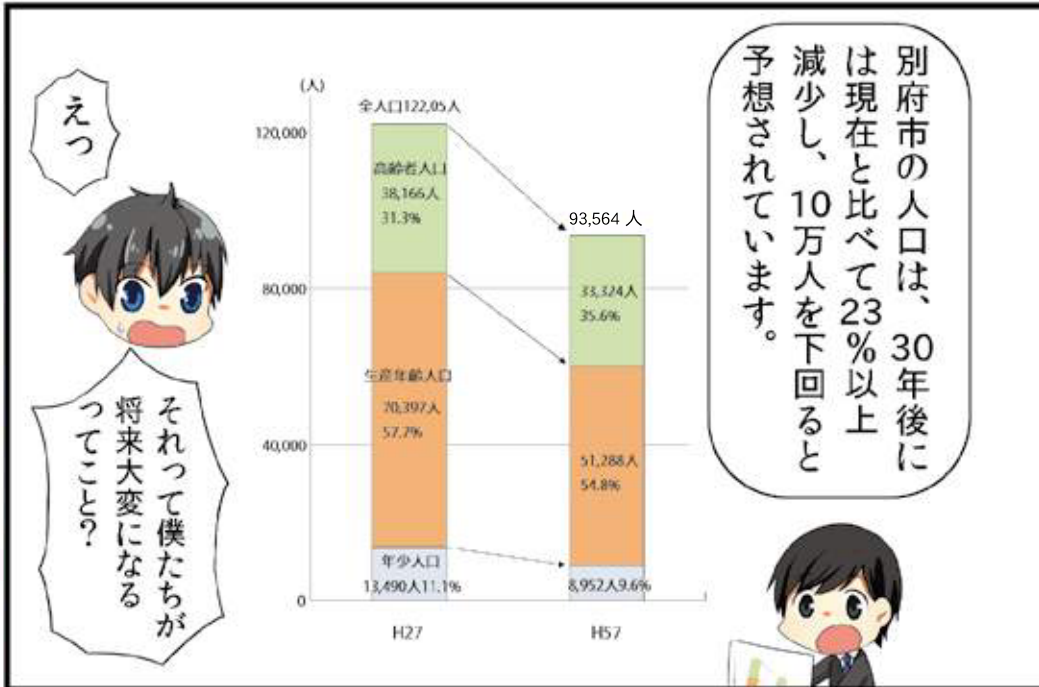
うくん：将来、
別府市の人口って
どのくらい減るの？



人口が減り、働く人も
減っていくので税収も
下がると見込まれています。



少子高齢化で福祉に
必要なお金も増える
見込みというし…



えっ
それって僕たちが
将来大変になる
ってこと？

別府市の人口は、30年後に
は現在と比べて23%以上
減少し、10万人を下回ると
予想されています。



各部屋の利用率が
30%以下など、あまり利用
されていない施設が多い
ことも問題なんです。



このままでは、市の
貯金もどんどん
減って、財政が
厳しくなるって
聞いたわ。



確かに、もうほとんど使っていない部屋がたくさんあるわ。



違う施設に同じような部屋があつて、使われてなかつたらもつたないね。



この2つの施設は、会議室がどちらにもあるわね。

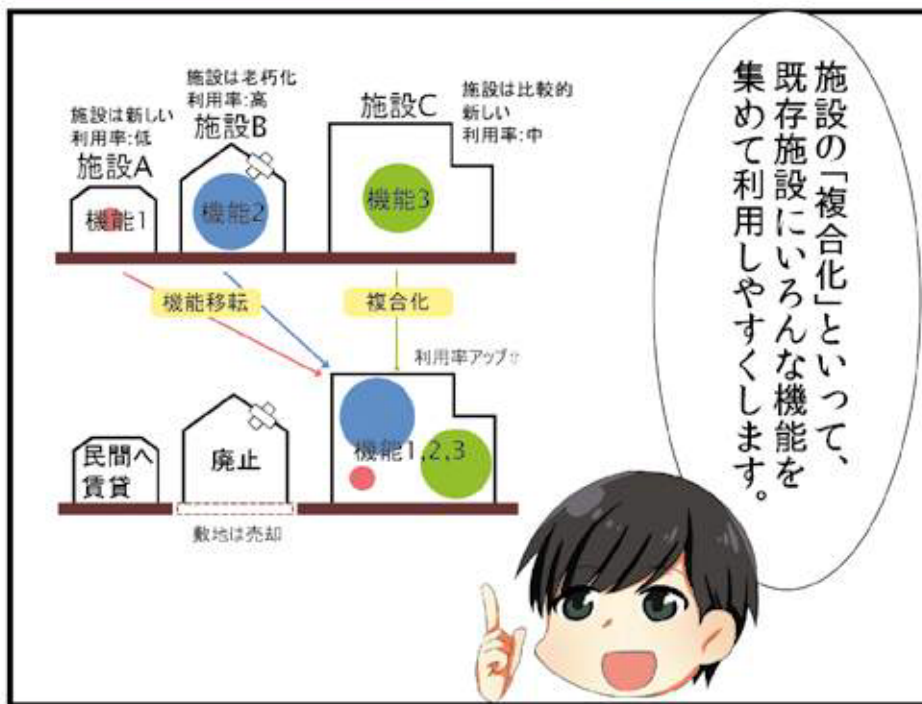


お金がもつたないよ!

今までの考え方ではうまくいきそうにない... どうしたらいいの?



施設の運営や管理には、費用がかかるから大変ですよね。

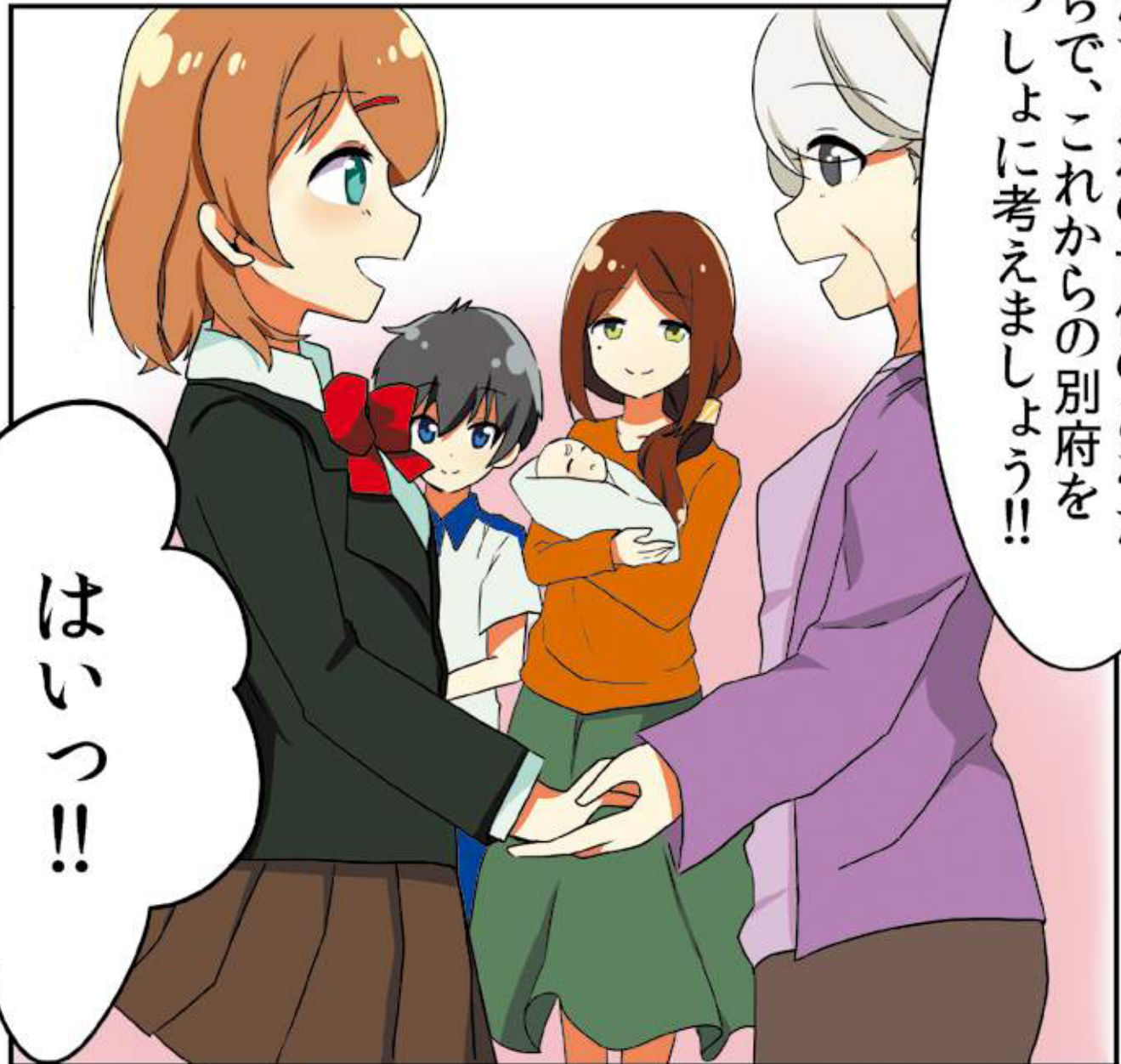




私たちが未来のために
できることってなんだろう？

そうだね！

これは、みんなが利用
しやすい公共空間に
見直すチャンスなのよ。

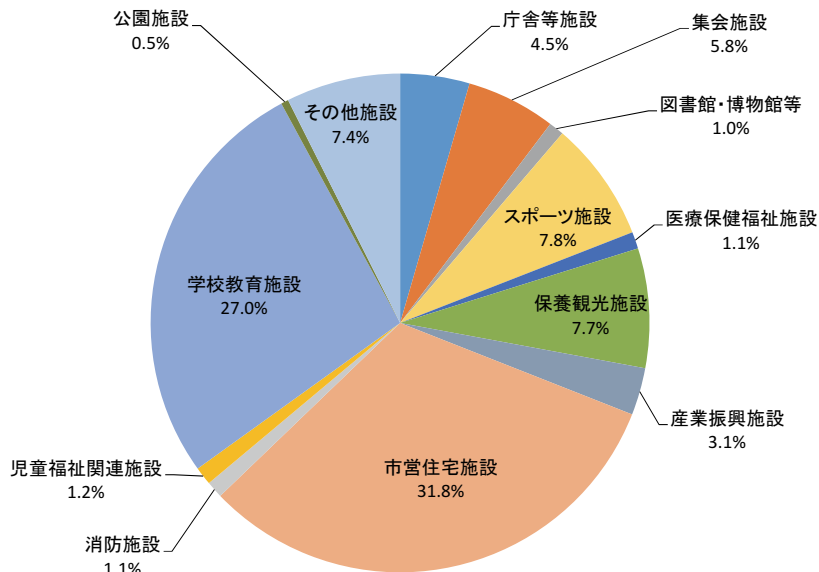


私たちと次の世代のあなた
たちで、これからの別府を
いっしょに考えましょう！！

はいっ！！

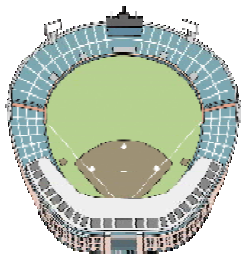
■ 別府市の公共施設の現状はどうなっているの？ (施設床面積は平成27年3月末時点)

○市営住宅施設と学校教育施設で全体の6割近くを占めます。



○施設総量は甲子園球場グラウンド39個分

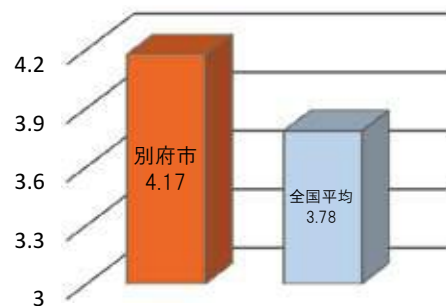
385施設 床面積約5.0万㎡



×39個分

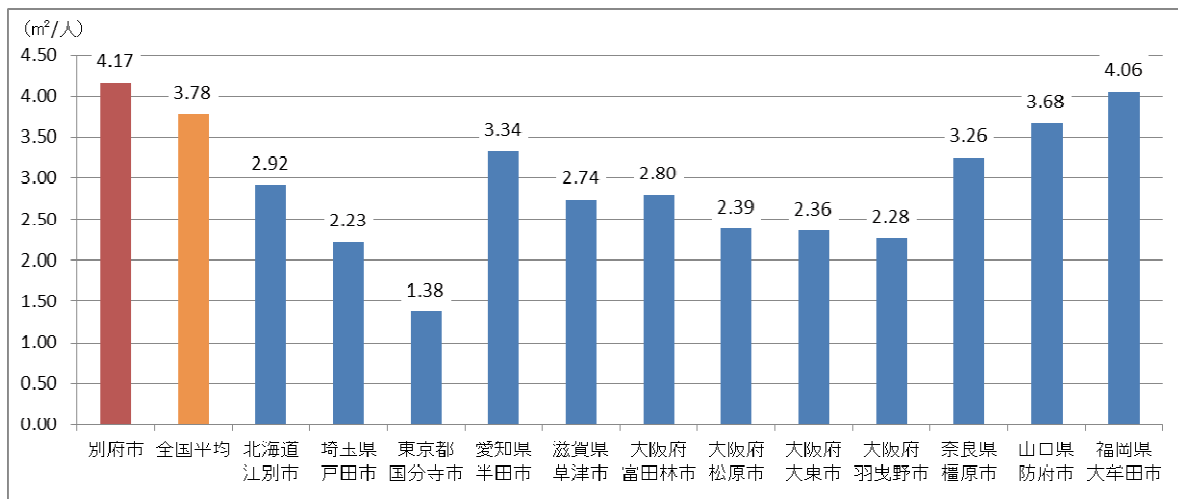
甲子園球場グラウンド

○市民1人当たり公共施設床面積 (㎡/人)



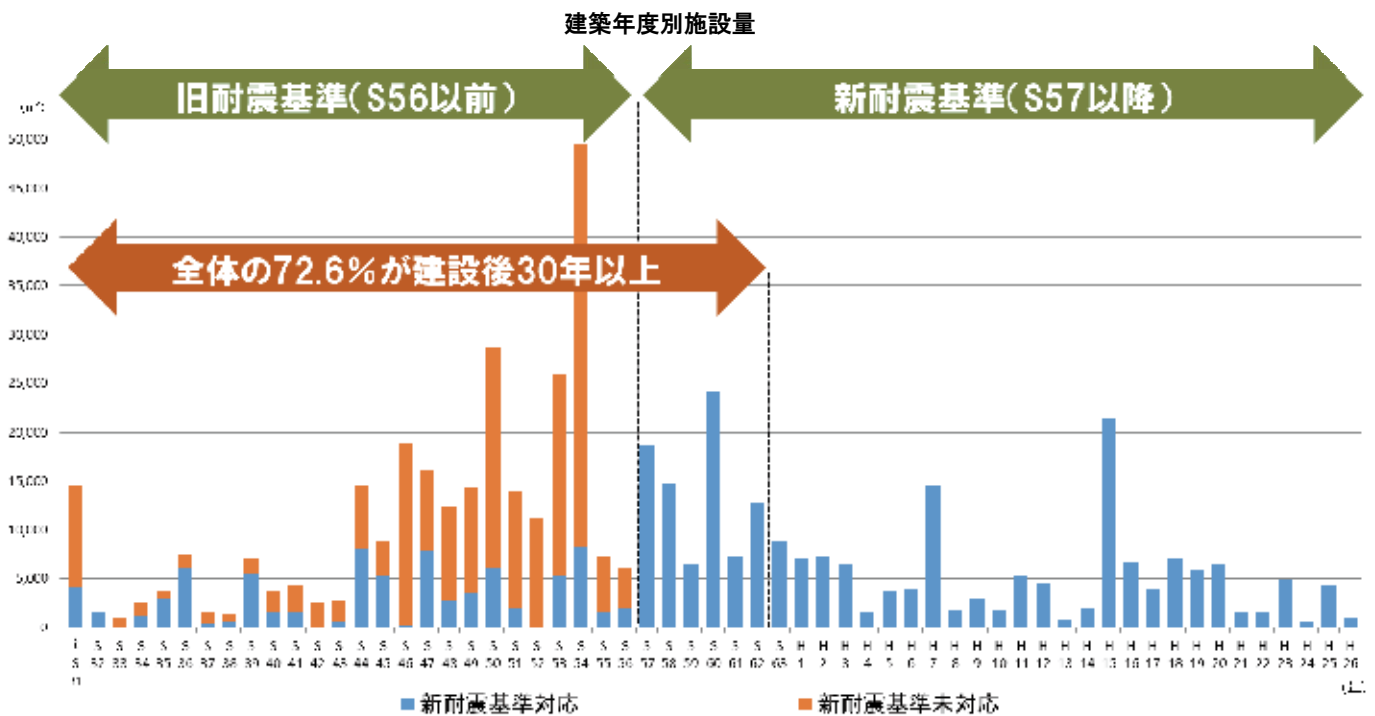
別府市は、平成26年末時点の公共施設面積と住民基本台帳人口から計算。
全国平均は、平成24年度末の総務省「公共施設状況調」と、住民基本台帳人口から計算。

○類似団体との市民1人当たりの公共施設保有面積の比較



※類似団体は、近年市町村合併を経ておらず、人口規模や産業構造が別府市と類似している団体から抽出しています。

○昭和56年以前の旧耐震基準で建設された施設が6割近くを占めます。



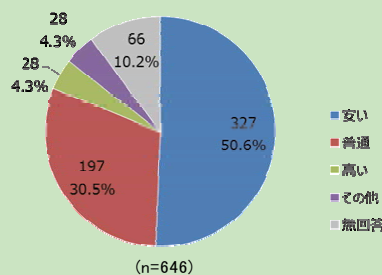
■ なぜ公共施設を再編しなければならないの？

- 築30年以上の建物数が7割、40年以上が4割と老朽化している。
- 耐震化未対応の建物、標準耐用年数を超過する建物がある。
- 各部屋の利用率が30%以下など、稼働率の低い施設が多い。
- 集会室や会議室など、機能面での重複や配置の偏りがある。
- 全体の8割の施設が赤字で、税金の負担割合が高くなっている。
- 本来の目的に応じた使い方が少なくなっている施設がある。

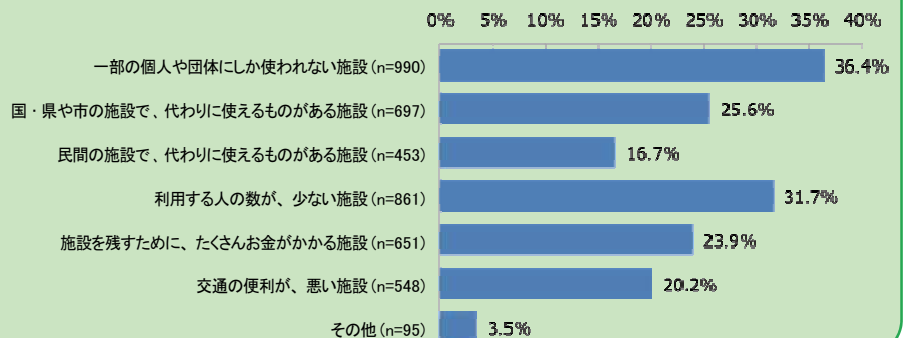
施設を利用している人に聞きました

「別府市公共施設利用者アンケート結果報告書」より抜粋

Q. 市営温泉の入浴料（施設使用料を含む）について、どう思いますか。



Q. 今後、別府市の公共施設を見直し（施設の数や面積を減らしたり、2つの施設を1つにまとめたり）をするとすれば、どんな施設から見直すべきだと思いますか。



■ 公共施設をどのように再編していくの？

目標

「公共施設に係る費用を今後30年間で30%以上圧縮する」

□ 機能に基づく適正配置

施設の総量は削減しつつ、公共サービスや公共施設のあり方を見直し、必要な行政サービス機能の維持を図ります。また、同じ利用形態の施設の重なりがないようにします。

□ 施設保有総量の圧縮

「利用が低い」「老朽化が著しい」施設等は原則廃止とし、統廃合により総量を圧縮します。今後、施設の更新時等に機能の集約と複合化を進め、施設稼働率の向上を図ります。

□ 建替え時等の制限

複合化等により施設を新築する際は、現施設の保有量を超えない範囲で整備を行います。新たな需要には既存施設を有効活用します。

□ 民間事業者等の活用

施設の整備には、民間資金やノウハウの活用を図ります。また、既存の地域資源や民間施設等の積極的な活用を検討します。

□ 利便性の向上と受益者負担の見直し

より幅広い市民が利用できる施設への転換を図り、市民ニーズに応じた利便性の向上を図ります。管理コストの縮減に努め、利用料金や減免制度の見直しを行います。

□ 収益事業化等の検討

利用料金を徴収する施設については、利用促進による収益事業化を検討し、民営化又は民間譲渡などの手法を積極的に活用します。

公共施設再編計画に関する意見書より

平成29年3月 別府市公共施設再編計画検討委員会（有識者4名、市民代表2名）

- ◆ 施設と機能を分けて施設の量を減らす考え方を高く評価する。
- ◆ 収益事業化し、民営化も含め民間活力を積極的に導入すべきである。
- ◆ 出張所と公民館など、行政機能の複合化・集約化を図るべきである。
- ◆ スポーツや文化活動等に係る費用は適正な利用者負担が必要である。
- ◆ 将来の別府のあり方について市民と真剣に対話を重ねるべきである。

■ 別府市公共施設再編計画を推進する目的

再編計画は、施設を減らすことだけが目的ではなく、施設と機能を分けて考え、市民が必要とする行政サービス機能を維持し、一人ひとりの満足度を高めるための実行計画です。公共施設の再編を、新しいまちづくりの機会と捉え、これからの時代に合った新しい公共空間のあり方を市民と協働で考えていきます。また、再編をすすめるにあたっては、市民の皆様への説明を丁寧に行ってまいります。



別府市共創戦略室公民連携課
〒874-8511 別府市上野口町1番15号
TEL 0977-21-1241
Eメール ppc-te@city.beppu.lg.jp
URL <https://www.city.beppu.oita.jp/>
制作協力
別府大学 文学部 国際言語・文化学科
マンガ・アニメコース